

＜エコポリスセンター 地域エコロジー講座 詳細メニュー＞

No.	31	主な対象	小学3年生以上(あいキッズ、寺子屋など) 一般区民向け(町会・自治会・サークルなど)
タイトル	風となかよし～風車を作って、風力発電器を作ろう～(SOE)		
テーマ	身近な自然、エネルギー	形式	講義＋工作
所要時間	1時間半	人数	10名～60名(要相談)
推奨実施時期	通年		
講師・費用	NPO法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア(無償)	講師派遣数	2～4名
ねらい・内容	<p>■ねらい 風と出会った体験から、いろいろな風があることに気づく。風の子フーのなみだをみて、風はいろいろな力で人々の生活を支えていることに気づく。風は電気も起こせることを実験で明らかにする。</p> <p>■内容 ＜風との出会い＞ 季節によっても、いろいろな風に出会うことを思い出し、風に関心を高める。 ＜紙芝居＞ 「風の子フーのなみだ」の読み聞かせ。風は、いいこともたくさんしていることを知る。 ＜かざぐるま作り＞ ・折り紙で、かざぐるまを作る。 ・自分の周りで、回してみる。 ＜風力発電器を作ろう＞ ・かざぐるまを中心を動かさないように、くしから外して、モーターにつけた楊枝の先に差し込み、ビーズで止める。モーターの下に、LED電気がついている。 ・広い場所(公園、園庭、校庭、ホール内など)に出て、安全に走って、かざぐるまを回すと、モーターの下についたLED電気が赤や青に点灯する。紙のかざぐるまに風を受けると、風のエネルギーで回転し、回転のエネルギーがモーターに伝わりLED電気がつく。ひとり一人のかざぐるまで、自然の風で発電できることを体験する。</p>		   
依頼元にご用意いただく材料等	①筆記用具(各自)	講師側準備物	①かざぐるま作りセット 人数分持参 ②紙芝居「風の子フーのなみだ」 ③人数分 モーターとLED電気のセット ④プレゼンテーション用、SDカード等 ⑤ふりかえりカード
依頼元に必要な設備・機材	①プロジェクター ②スクリーン(無ければプロジェクターを投影できる白い布や壁) ③プロジェクター用・パソコン用の台 ④延長コード ⑤HDMIケーブル ⑥作業台 ⑦参加者用机・椅子 ⑧ホワイトボードとボード用ペン	実施場所	室内で人数が密にならないで工作できる広さの会場。 近くに走り回れる場所
依頼元スタッフ数	参加者10名につき1名(要相談)		
打ち合わせ	【対応時間】9時～17時 ・電話かメールで連絡がとれるようにお願いいたします。NPO法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲアのスタッフからご連絡差し上げます。場合によっては直接会場で下見・打ち合わせをさせていただきます。		
その他	講師謝礼につきましては、エコポリスセンターにて負担いたします。 ★確定した【参加人数・班人数】を開催10日前までにご連絡ください。		